



平成 20 年 10 月 1 日

各 位

株式会社ファルコバイオシステムズ
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
代表取締役社長 平 崎 健 治 郎
(コード番号: 4 6 7 1 東証・大証各第一部)
お問い合わせ先:
遺 伝 子 事 業 部 長 横 山 士 郎
電 話 (0 7 5) 2 5 7 - 8 5 4 1

LGC との CYP2D6*4 遺伝子特許使用許諾契約締結について

当社は、LGC (LGC Limited : 英国ミドルセックス州テディントン) との間で、薬剤代謝酵素チトクロム P450 の遺伝子多型のひとつである CYP2D6*4 遺伝子解析の日本国内における特許使用許諾契約を本日付けで締結いたしました。

この遺伝子多型の特許は、日本ではインペリアル・キャンサー・リサーチ・テクノロジー・リミテッド (英国ロンドン) が特許を取得 (特許第 3272353 号) してダンディー大学 (英国スコットランド・ダンディー) に独占的实施権を与えられています。ダンディー大学は、LGC に対して本特許の全世界へのサブライセンス権を含む独占的实施権を許諾しており、当社はこの LGC からわが国における実施権を取得いたしました。

当社は、平成 18 年 8 月 21 日にジェントリス・コーポレーション (米国ノースカロライナ州モリスビル) との間でファーマコゲノミクス (PGx) 事業の日本国内での実施について業務提携を行い、同社のノウハウに基づいた PGx 解析サービスを提供しております。PGx 解析サービスには、薬剤の効果や副作用の出現しやすさを調べる薬剤代謝酵素の遺伝子多型解析があり、そのひとつが CYP2D6*4 遺伝子解析であります。

当社は今後この CYP2D6*4 遺伝子を含む薬剤代謝酵素の遺伝子多型解析をはじめとした PGx 解析サービスの受託をさらに積極的に進めてまいります。

チトクロム P450 (CYP) はさまざまな基質を水酸化する酵素で、体内においては主に肝臓で解毒作用を担う異物代謝酵素群として約 60 種類の型があることが知られています。この酵素はその型によって代謝する薬剤が異なることが知られていますが、同じ型の酵素でもその代謝能力には個人差があり、その代謝能力を決める設計図としての遺伝子を調べる

ことによって薬剤の効果や副作用の出現（酵素の量や活性の強弱と相関）を予測することができます。

薬剤の代謝に影響を与える CYP 遺伝子型が知られている場合は、患者さんの CYP 遺伝子型を調べることでその薬剤の効果や副作用の出現しやすさを予測することができるので、個人の体質に合わせた薬の種類や投与量を合理的に決めることができます（個の医療、オーダーメイド医療）。

現在はまだ一部の例に限られますが、薬剤の添付文書の「相互作用」の項に、その薬剤がどの CYP 酵素の代謝を阻害または誘導するのか記載されるようになり、今後は、臨床診療の現場において CYP 遺伝子解析は治療薬の決定に際して必須の臨床検査項目になることが想定されます。

以 上

本件に関する一般的なお問い合わせ先

IR 広 報 室：075-257-8523

技術面に関するお問い合わせ先

遺伝子事業部：075-257-8541